



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

横浜市が実施する「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」の一環として、実証実験を実施

2023年2月3日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、横浜市の「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」の共同事業者として、移動手段に応じたポイント付与による行動変容等の検証等を行う実証実験を2月から実施しますので、お知らせします。

1. 市事業参画に至った背景

当社は、新たな中期経営計画において「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）^{※1}」を掲げ、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決に取り組んでいます。また、テレマティクス技術に関するノウハウを持つ当社では、移動手段による二酸化炭素排出量の削減取組を促進し、脱炭素社会の構築に向けた課題解決手段と付加価値を提供し、お客さまと社会の共通価値を創出し続けることを目指しています。

今般、横浜市が目指す2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現のため、横浜市民一人ひとりが脱炭素ライフスタイルの取り組みを進められるよう「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの創出・浸透事業」の共同事業者^{※2}として実証実験を実施することとなりました。

※1 CSV…Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX…Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

※2 2022年10月より共同事業者候補として横浜市と協議を重ね、今般協働契約を締結しました。

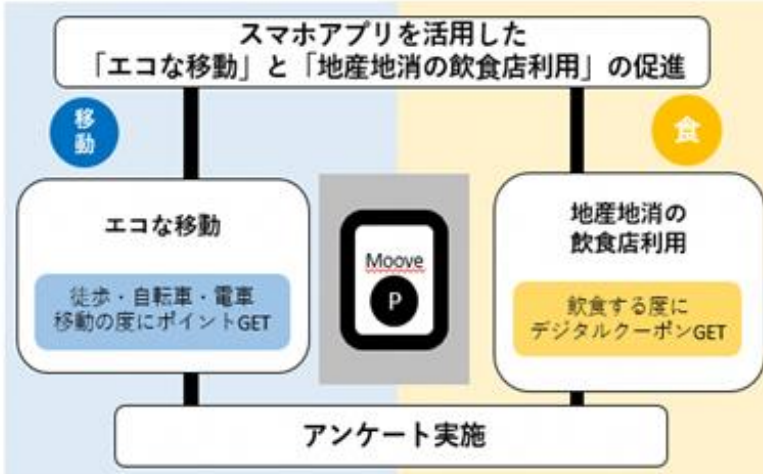
2. 実証実験の概要

2022年度は、ライフサイクルでの排出量が多い「移動」と「食」を対象として実施します。

(1) スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・2月3日（金）：モニター募集開始 ・2月15日（水）～3月15日（水）：実証実験 				
(2) モニター対象	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市に在住、在勤、通学する方かつiPhoneを使用でき、専用アプリケーション「Moove（ムーブ）」をダウンロードして利用できる方（最大500名） 				
(3) 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が開発した、GPS（全地球測位システム）により移動方法や移動距離を判別し、ポイントを付与するスマートフォンのアプリケーション^{※3}を活用し、ポイントによる「エコな移動」及び「地産地消の飲食店利用」への行動変容や温室効果ガス排出削減、サーキュラーエコノミーの構築に関する効果等について検証を行います。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>エコな移動</td> <td>移動距離に応じ、また温室効果ガス排出量の少ない移動手段の場合に多くなるように、ポイントを付与します。</td> </tr> <tr> <td>地産地消の飲食店利用</td> <td> 下記店舗利用時にクーポンを付与します。 ○TSUBAKI 食堂（横浜市中区本町 6-50-10） ○横浜ビール 驛の食卓（横浜市中区住吉町 6-68-1） </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験は2022年度の事業成果を踏まえ、2023年度以降、参加者の増加や様々なライフスタイルへの対象拡大等を行うことを想定しています。 	エコな移動	移動距離に応じ、また温室効果ガス排出量の少ない移動手段の場合に多くなるように、ポイントを付与します。	地産地消の飲食店利用	下記店舗利用時にクーポンを付与します。 ○TSUBAKI 食堂（横浜市中区本町 6-50-10） ○横浜ビール 驛の食卓（横浜市中区住吉町 6-68-1）
エコな移動	移動距離に応じ、また温室効果ガス排出量の少ない移動手段の場合に多くなるように、ポイントを付与します。				
地産地消の飲食店利用	下記店舗利用時にクーポンを付与します。 ○TSUBAKI 食堂（横浜市中区本町 6-50-10） ○横浜ビール 驛の食卓（横浜市中区住吉町 6-68-1）				

※3 2022年9月20日リリース [「移動手段に応じてポイントを付与するプログラムを自治体等向けに開発」](#)

<実証実験イメージ>



<Moove 画面イメージ>



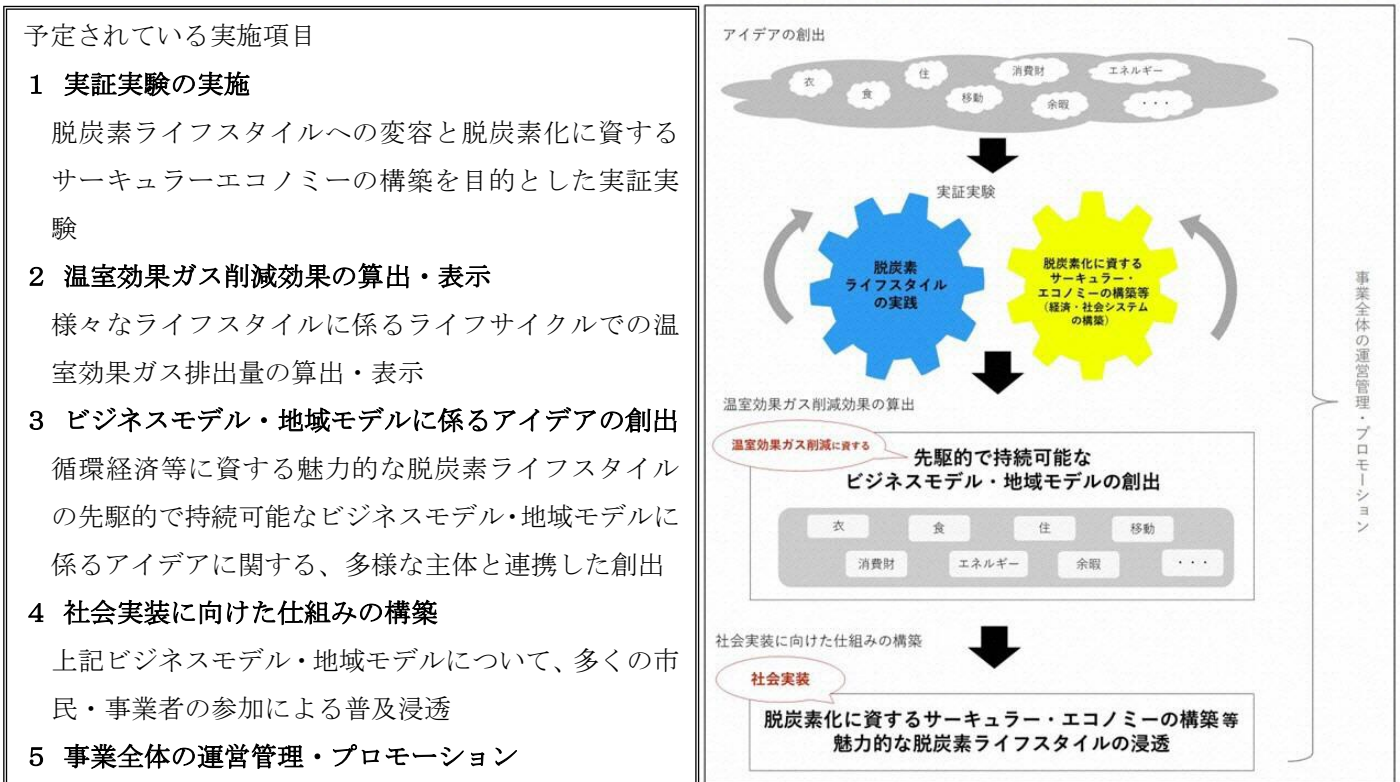
3. 今後の展開

温室効果ガス削減効果の創出に向けて、当社は、2022 年度から開始した中期経営計画において「2030 年度に CO2 の 50%削減・2050 年度のカーボンニュートラル達成」を掲げております。今般、横浜市との「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの創出・浸透事業」で得たノウハウを活用し、連携協定先の地方自治体やお客さま等、当社ステークホルダーの「脱炭素ライフスタイルへの変容」に取り組めます。

このように、当社がデジタルの力で「脱炭素ライフスタイルへの変容」に取り組み、温室効果ガスの削減・自然災害の低減に寄与し、火災保険事業の安定化と安全・安心なまちづくりを同時実現することで CSV×DX を体現します。

(参考)「脱炭素化に資する魅力的なライフスタイルの創出・浸透事業」について

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業 イメージ図



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

